

令和 8 年度 総合型選抜学生募集要項

- 障がい有する者等の配慮の申請期限
令和 7 年 8 月 8 日（金）
- 出願期間
令和 7 年 9 月 1 日（月）～ 9 月 8 日（月）
※ 9 月 8 日（月）の郵送発信局消印有効
- 試験日程
 - 彫刻専攻（美術工芸学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）
 - 芸術学専攻（美術工芸学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）
 - 工芸専攻（美術工芸学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）～ 9 月 28 日（日）
 - 音楽表現専攻（音楽学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）～ 9 月 28 日（日）
 - 音楽文化専攻（音楽学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）～ 9 月 28 日（日）
 - 琉球芸能専攻（音楽学部）
令和 7 年 9 月 27 日（土）～ 9 月 28 日（日）
- 合格者の発表
令和 7 年 11 月 4 日（火）午前 10 時 ※本学ウェブサイト掲載
合格者には合格通知書を郵送する
- 入学手続期間
令和 7 年 11 月 7 日（金）～ 11 月 14 日（金）
※ 11 月 14 日（金）の郵送発信局消印有効

令和 7 年 6 月



沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地
電話 (098)882-5080
<https://www.okigei.ac.jp>

令和8年度 沖縄県立芸術大学 総合型選抜学生募集要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員・出願資格・選抜方法	
1	美術工芸学部	
(1)	募集人員	5
(2)	出願資格	5
(3)	選抜方法	6
(4)	試験科目一覧及び配点表	8
2	音楽学部	
(1)	募集人員	8
(2)	出願資格	8
(3)	選抜方法	9
(4)	試験科目、配点表	10
第3	出願手続	
1	出願期間	11
2	出願方法	11
3	出 願 先	12
4	出願上の注意	13
5	受 験 票	13
第4	試験期日等	13
第5	受験上の注意	14
第6	不正行為	15
第7	合格者の発表	15
第8	入学手続	
1	入学手続期間	15
2	提出書類	15
3	入学料の納入	16
4	入学手続送付先	16
5	留意事項	16
6	入学料の減免について	16
第9	その他	
1	障がい等を有する者等の配慮の申請	16
2	入試成績の情報提供について	16
◎	大学案内	17
◎	沖縄県立芸術大学の概要	18
◎	学生生活	19

令和8年度 沖縄県立芸術大学 総合型選抜学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。

- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。

- ・総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。

- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別テスト等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学の学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

美術工芸学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもちろん、造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を見出せる作家や研究者などの専門家の養成をめざします。高い技術や専門知識、総合的かつ国際的な視野を身につけ、次代を担う個性的で優れた人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者、教育者などの専門家を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的視野を身につける教育を行います。

【求める人物像】

美術工芸学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び美術工芸学部の教育の理念をよく理解し、大学での学習に必要な基礎的な知識と技能を備えている人
- 2 美術・デザイン・工芸分野における制作や学習において、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を備えている人
- 3 美術・デザイン・工芸分野において作家、研究者、教育者などの専門家になる意欲のある人
- 4 芸術文化の多様な背景を理解し、人とのコミュニケーションを大切に考え、社会性を認識し主体性を持って他者と協働できる人
- 5 沖縄固有の芸術文化や自然等に関心があり、沖縄で学ぶことに意義を見出せる人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

美術工芸学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに総合点の上位から合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、実技検査、小論文、面接（プレゼンテーションを含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、絵画・デザイン・工芸各専攻は課題作品、小論文の提出と面接（プレゼンテーションを含む）を、芸術学専攻は小論文の提出と面接、口述試験を実施し、大学での学習に必要な知識、技能、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び高等学校長からの推薦書、志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 3 総合型選抜では、彫刻専攻・芸術学専攻・工芸専攻は、専攻別に設定する試験（実技検査、小論文、ゼミナール試験、作品資料の提出等）及び面接・口述試験（実技試験のプレゼンテーション含む）を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的、総合的な評価を行うため、面接等において、志願者本人が記載する書類等を活用します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 専門分野の実技と理論において、必須科目を中心とした体系的な授業科目の編成
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 自らの学修計画に基づき主体的に履修できる選択科目の編成
- 4 大学の学修活動全体を通じて汎用的基礎能力を育成する教育の実施
- 5 現代社会における美術・デザイン・工芸の役割を認識し、地域との連携を図り、社会との関係を学ぶ教育の実施

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の学習目標の達成度を基準に、作品・論文・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得

した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

【教育の理念】

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人物像】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。

なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 総合型選抜では、専攻別に設定する専攻試験、プレゼンテーション及び書類審査・面接を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的、総合的な評価を行うため、面接等において、調査書及び志願者本人が記載する書類等を活用します。

- 4 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 学生の多様な資質・能力を伸長するための少人数による教育
- 2 専門教育（主要科目）における、4年間にわたる段階的履修
- 3 各専門分野における基本的知識・技能を培うための、必修科目を中心とした体系的・横断的な科目編成
- 4 自然や地域、言語、芸術諸分野及び一般教養など幅広い教養を通して、汎用的基礎能力を身に付けるための全学教育科目の編成
- 5 学生の多様な関心や課題発見を促し自律的に学習できる選択科目の提供
- 6 様々な学びを統合し、地域・社会との連携を通して、芸術（音楽・芸能）と社会との関係を学ぶ科目の提供

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

第2 募集人員・出願資格・選抜方法

美術工芸学部及び音楽学部の学科・専攻別募集人員、出願資格、選抜方法は次のとおりである。

1 美術工芸学部

(1) 募集人員

学科	専攻	募集人員
美術学科	彫刻専攻	若干名
美術学科	芸術学専攻	若干名
デザイン工芸学科	工芸専攻	8人

注1：工芸専攻では2年次前期終了時に染分野、織分野、陶芸分野、漆芸分野の選別（選択制）を行い決定します。

注2：彫刻専攻及び芸術学専攻の総合型選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

(2) 出願資格

次の①から⑧のいずれかに該当し、⑨から⑪を満たす者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者（令和7年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和8年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- ⑥ 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和7年7月11日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）
- ⑨ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- ⑩ 美術工芸学部の志願する学科・専攻のアドミッション・ポリシーを理解し、本学での学習や学習以外の活動に高い意欲をもち積極的に取り組める者。
- ⑪ 令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学美術工芸学部が指定する教科・科目を受験する者

(3) 選抜方法

入学志願者本人の記載する資料等の出願書類及び次に示す選抜試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

①小論文・実技検査・面接等

ア 美術工芸学部 美術学科 彫刻専攻

▼彫刻専攻

試験日		9月27日(土)
試験科目 試験時間	9:00～ 10:30 上記の時間内に 提出及び 搬入を行うこと。	実技(事前に制作された作品の提出) (1) 彫刻 1 点(1～2年前から現在までに制作したものに限る。) ア 作品は、受験者一人で搬入・設置・搬出できるものとする。受験時の搬入・搬出に運送業者は利用できない。事前の宅配便等による送付は可。 イ 作品のサイズ・素材は自由とするが、持ち込みや輸送に耐えることのできる強度でつくること。 ウ 受験者が使用できるスペースは、床置きまたは台の上に限り、共に 50 センチ平方とする。 (2) デッサン 1～2年前から現在までに描いたデッサン 2 枚。紙の種類、大小を問わない。 作品資料・ファイルの提出 作品写真集 1 冊 1～2年前から現在までに制作した作品を、A4 サイズのクリアファイル 1 冊にまとめて提出すること。 ア 学校等の課題作品も含む。 イ 共同制作の場合は、志願者本人が担当した内容を明記すること。 ウ 「制作年」「作品の大きさ」「素材」を明記すること。 エ 作品は少なくとも 2 点以上掲載すること。但し、「実技」として提出する彫刻 1 点とデッサン 2 枚は含まないこと。 オ その他、クロッキー帳などの描き溜めた作品があれば併せて提出することも可。 ※作品は本人立会いのうえ搬入すること。 ※提出されたものは全て試験終了後に返却する。
	11:00～12:00	小論文 筆記用具持参
	12:00～13:00	休憩
	13:00～16:00 上記時間内にて 20 分程度。	面接 面接待機中及び面接終了後に作品搬出を行う。
	試験場	首里崎山キャンパス彫刻棟

提出物 送付先	〒903-0814 沖縄県 那覇市首里崎山町4丁目 212 番 1 沖縄県立芸術大学 首里崎山キャンパス彫刻棟 彫刻学科室 TEL 098-882-5046
備考	試験が終了するまでは学外への出入り禁止のため、必ず弁当を持参すること。

イ 美術工芸学部 美術学科 芸術学専攻

▼芸術学専攻

試験日	出願時提出	9月27日(土)	
試験科目 試験時間	【小論文】 課題「将来の芸術はどうあるべきか、2000字程度で、考えを述べなさい。」(400字詰め原稿用紙(B4判・縦書)手書きで5枚程度) ※タイトルは自分でつけること。 ※原稿用紙1枚目の欄外右余白に、タイトル・氏名を記入すること。 ※小論文は、出願書類と一緒に郵送等にて提出すること。(持ち込み不可) ※小論文は、返却しない。	10:00～12:00	【ゼミナール試験】 講義を聴いた後、その内容を基に受験者間でディスカッションを行う。 ※30分前には試験会場前に集合すること。
		12:00～13:00	休憩
		13:00～	【口述試験】 小論文やその他志願書類を基に、口述試験を実施する。
試験場		首里当蔵キャンパス一般教育棟	
備考		試験が終了するまでは学外への出入り禁止のため、必ず弁当を持参すること。	

ウ 美術工芸学部 デザイン工芸学科 工芸専攻

▼工芸専攻

試験日	9月27日(土)	9月28日(日)
試験科目	実技試験 体験授業 (授業内容はコラージュによる作品制作) (授業内で作品のコンセプトシートを作成する)	面接 実技試験のプレゼンテーション
試験時間	10:00～15:00 (※昼食 12:00～13:00)	10:00～
受験者が持参すべき用具等	筆記用具	
備考	(1) その他試験に必要な材料・用具は本学で準備する。 (2) 実技試験が終了するまでは学外への出入り禁止のため、必ず弁当を持参すること。	面接試験の実施方法及び開始時間については各入学志願者に連絡する。
試験場	首里崎山キャンパス工芸棟	

②大学入学共通テスト

総合型選抜の合格者を対象に、大学入学共通テストを課す。本学美術工芸学部が以下に指定する教科・科目の受験をしなかった場合及び科目の得点の中に0点がある場合は、合格発表後であっても合格を取り消す場合がある。

教 科	出 題 科 目	選択方法
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (英語はリスニングテストを含む)	必 須 左記から 1科目を 選択
国 語	『国語』	必 須
地理歴史・ 公 民	『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、 『歴史総合，世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、 『公共，倫理』、『公共，政治・経済』	必 須 左記から 1科目を 選択
数 学	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ，数学B，数学C』	
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情 報	『情報Ⅰ』	

※1 『地理歴史・公民』及び『理科』の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象とする。

※2 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答。

※3 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答。

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

(4) 試験科目一覧及び配点表

試験科目 学科・専攻		小論文	実技	ゼミナール 試験	面接	口述 試験	作品資料・ ファイル	配点合計
美術学科	彫刻専攻	200	300		100		400	1000
	芸術学専攻	300		400		300		1000
デザイン工芸学科	工芸専攻		500		500 [注]			1000

注 工芸専攻の面接試験は、実技試験のプレゼンテーションを含む。

2 音楽学部

(1) 募集人員

学科	専攻	募集人員
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	7 人
	音 楽 文 化 専 攻	5 人
	琉 球 芸 能 専 攻	6 人

(2) 出願資格

次の①から⑧のいずれかに該当し、⑨から⑩を満たす者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和8年3月までに修了見込みの者

- ③ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号。以下「法施行規則」という。）第 150 条第 1 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が法施行規則第 150 条第 2 号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の法施行規則第 150 条第 3 号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- ⑥ 法施行規則第 150 条第 4 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 8 年 3 月 31 日までに合格見込みの者
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和 7 年 7 月 11 日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）
- ⑨ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
（注）出願できる専攻・コースは一つとする。
- ⑩ 音楽学部の志願する学科・専攻のアドミッション・ポリシーを理解し、本学での学習や学習以外の活動に高い意欲をもち積極的に取り組める者。

（３）選抜方法

大学入学共通テストを免除し、入学志願者本人の記載する資料等の出願書類及び次に示す選抜試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

ア 音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻

【専攻試験】

詳細については、別冊子『令和 8 年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【プレゼンテーション】

大学の学習に必要な知識、思考力、表現力などを総合的に評価するため、事前に提示されたテーマに基づいて5 分以内のプレゼンテーションを実施する。

詳細については、別冊子『令和 8 年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【面接】

本学指定様式による「活動報告書」「志願理由書」の提出を求める。

人物の志向性や学習に対する意欲、芸術を志す者としての資質等を多角的に評価するため、提出書類を活用した15分程度の面接を実施する。

イ 音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻

【専攻試験】

詳細については、別冊子『令和 8 年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【プレゼンテーション】

大学の学習に必要な知識、思考力、表現力などを総合的に評価するため、事前に提示されたテーマに基づいて5 分程度のプレゼンテーションを実施する。

詳細については、別冊子『令和 8 年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【面接】

本学指定様式による「活動報告書」「志願理由書」の提出を求める。

人物の志向性や学習に対する意欲、芸術を志す者としての資質等を多角的に評価するため、提出書類を活用した15分程度の面接を実施する。

ウ 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻

【専攻試験】

詳細については、別冊子『令和8年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【プレゼンテーション】

大学の学習に必要な知識、思考力、表現力などを総合的に評価するため、事前に提示されたテーマに基づいて5分程度のプレゼンテーションを実施する。

詳細については、別冊子『令和8年度音楽学部試験曲』に掲載する。

【面接】

本学指定様式による「活動報告書」「志願理由書」の提出を求める。

人物の志向性や学習に対する意欲、芸術を志す者としての資質等を多角的に評価するため、提出書類を活用した15分程度の面接を実施する。

(4) 試験科目、配点表

試験科目 専攻・コース		専攻試験			プレゼンテーション	面接
		実技 検査	小論文	口述 試験		
音楽表現専攻	声楽コース	◎			◎	◎
	ピアノコース	◎			◎	◎
	弦楽コース	◎			◎	◎
	管打楽コース	◎			◎	◎
	作曲理論コース	◎		◎	◎	◎
音楽文化専攻	沖縄文化コース		◎	◎	◎	◎
	音楽学コース		◎	◎	◎	◎
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース	◎			◎	◎
	琉球舞踊組踊コース	◎			◎	◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声 楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦 楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏

注3：提出された各種書類を活用して面接試験を実施する。

◇ 配点表

試験科目 専攻	専攻試験	プレゼンテーション	面接	配点合計
音楽表現専攻	700	100	200	1000
音楽文化専攻	500	300	200	1000
琉球芸能専攻	700	150	150	1000

第3 出願手続

1 出願期間

令和7年9月1日（月）から9月8日（月）まで

2 出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。本学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000 円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、令和7年9月8日（月）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。※領収書の提出は不要。

イ 別途手数料がかかるため留意すること。

ウ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日までの消印があるものに限り受理する。

* 出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

沖縄県立芸術大学オンライン出願ページ

<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘 要
①入学志願票	入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。日本国籍以外の者は在留資格を記載すること。現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様に） 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 写真は入学後の学生証にも使用するため、<u>学校の制服姿は推奨しない。</u> <u>※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。</u>

②調査書	以下、ア、イのいずれかに該当する書類を提出すること。 ア 調査書 文部科学省所定の様式に従い、出身学校長が証明したもの（原本・開封無効）を提出すること。 ＊ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の理由により出身学校長から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出すること。 ・卒業証明書 ・成績証明書 ＊上記、成績証明書が発行できない場合は、それに代わる書類または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出すること。 ＊廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出すること。 ＊日本語以外の言語で作成されている場合は日本語訳を添付すること。 イ 合格成績証明書 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。
③志願理由書	本学所定の志願理由書に、入学志願者本人自身が記入し、提出すること。
④活動報告書	本学所定の活動報告書に、入学志願者本人自身が記入し、提出すること。
⑤プレゼンテーション形式申告書	音楽学部のみ提出。本学指定の様式に、入学志願者本人自身が記入し、提出すること。
⑥住民票抄本 ※沖縄県内に限る	入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和7年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。
⑦その他	音楽表現専攻声楽コース入学志願者は、次の伴奏用楽譜を提出すること。 ア 提出楽譜は返却しない。 イ 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。 ウ 提出楽譜は、表紙（A4判）を付けること。 エ 提出楽譜は、表紙に曲目、調、氏名を明記すること。 音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者は、作曲または編曲作品の楽譜を出願時に提出すること。口述試験時に提出作品の控えを持参すること。 音楽文化専攻入学志願者は、小論文を提出すること。なお、提出する小論文はコピーを必ず取り、試験当日に持参すること。 琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の地謡用音源（CD）を提出すること。

3 出願先

〒903-8602	沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地 沖縄県立芸術大学事務局 教務学生課	電話（098）882－5080
-----------	--	-----------------

4 出願上の注意

- ア 総合型選抜は「専願」であり、他学部・専攻の総合型選抜の併願及び他大学への併願は認めない。
- イ 総合型選抜に出願した者が不合格となった場合、本学の学校推薦型選抜に出願することができる。出願を希望する者は、出願期間内に改めて出願手続きを行う必要がある（入学考査料の支払い含む）。
- ウ 総合型選抜志願者は不合格となった場合に備えて、一般選抜の分離分割前期日程・後期日程又は公立大学中期日程について、自由に3つまでの大学・学部にも併願することができる。ただし、その場合大学入学共通テスト試験の指定教科・科目を受験していること、入学検定料を新たに納入することが必要である。
- エ 出願書類の入学志願者の氏名は、通称・略字等は使用せず、丁寧かつ正確に記入すること。出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受け付けない。
- オ 出願書類の受付後は、記載事項の変更は一切認めない。
- カ 出願書類の記載と事実が相違する場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがある。
- キ 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。

（音楽学部の出願者のみ）

- ク **声楽コース入学志願者**は、次の中から声種を1つ選択し、出願すること。
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- ケ **弦楽コース、管打楽コース入学志願者**は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
（弦楽器）ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
（管打楽器）フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）
- コ **琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者**は、次の中から1種を選択し、出願すること。
歌三線、琉球箏
- サ 音楽文化専攻志願者は、小論文の課題図書を1つ選択して、出願すること。

5 受験票

- （1）受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- （2）令和7年9月17日（水）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

第4 試験期日等

美術工芸学部試験日程

令和7年9月27日（土）、9月28日（日）

※彫刻専攻・芸術学専攻は9月27日（土）のみ。

※工芸専攻の面接試験実施方法及び開始時間については、各入学志願者に連絡する。

音楽学部試験日程

令和7年9月27日（土）、9月28日（日）

集合場所（音楽学部試験のみ）

集合時間・試験会場等の詳細情報については、試験日前日（9月26日（金））の正午に首里当蔵キャンパス管理棟前及びウェブサイトに掲示するので必ず確認すること。

第5 受験上の注意

- (1) 受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- (3) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (4) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (5) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

【美術工芸学部受験生のみ】

- (1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。本学受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に携帯すること。
- (2) 個別テスト等の日程に注意すること。
- (3) 試験場は専攻ごとに異なるので注意すること。（最終ページの地図参照）
 - ア 工芸専攻受験者は午前9時30分までに首里崎山キャンパスのデザイン・中央棟1階エントランスホールに集合すること。また、2日目は試験場内の所定の場所に各自指定された時間の15分前までに集合すること。
 - イ 試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (4) 試験開始後30分を超えて遅刻した者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場係員に申し出ること。
- (5) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
 - ア 机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
 - イ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (6) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (7) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (8) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (9) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (10) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。
- (11) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

【音楽学部受験生のみ】

- (1) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (2) 試験当日は、特別に許可された場合を除き構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (3) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に電源を切り、イヤホン、ヘッドセット含めかばんなどにしまうこと。試験室内で手に持っていたり、身に付けていることを発見した場合、不正行為となることがある。
- (4) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (5) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (6) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (7) 試験時間中、机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
- (8) 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (9) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。
- (10) 試験で使用する楽器のうち、ピアノ、マリンバ以外は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。

- (11) 試験で使用する稽古着（着物）、小道具は各自持参すること。
- (12) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

第6 不正行為

1 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

次のことをすると不正行為とする。

- ・提出論文、作品等の全部又は一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合
- ・提出論文、作品等において、生成A I の出力結果が使用されていると判断された場合
- ・入学志願者本人以外の者（生成A I の利用を含む）による試験解答への関与
- ・監督者の指示に従わない場合
- ・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
- ・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にすること
- ・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。

- ・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- ・オンライン（リアルタイム）型試験において、関係のないパソコン、スマートフォン、タブレット等の操作をすること
- ・オンライン（リアルタイム）型試験において、「①辞書や参考書を見るために目線（視線）が頻繁に動く」「②意図的に通信を切断する」等、不正が疑われる行為
- ・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合
- ・「第5 受験上の注意」に記載されている電子機器類の使用に関する注意事項に反する行為

第7 合格者の発表

令和7年11月4日（火） 午前10時

合格者の受験番号は本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

また、合格者には発表と同時に合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。

第8 入学手続

1 入学手続期間

令和7年11月7日（金）～11月14日（金） 入学手続書類等は郵送にて提出すること。

※11月14日（金）の郵送発信局消印有効

2 提出書類

ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書

イ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

3 入学料の納入

入 学 料 282,000 円 県内居住者以外の者 512,000 円

納入期限 入学料は本学指定の振込依頼書により入学手続時までに入金すること。

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

なお、入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、本要項の「学生生活」を参照のこと。

4 入学手続送付先

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

5 留意事項

ア 総合型選抜の合格者は、本学の定める入学手続期間中に入学手続を行わなければならない。

イ 総合型選抜の合格者で特別の事情により入学を辞退する場合は、「入学辞退願」を入学手続期間内に本学教務学生課に提出し、本学学長の許可を得た場合に限り、入学辞退を認める。

ウ 総合型選抜合格者は、入学又は入学辞退のいずれかの手続を行わなければならない。このいずれの手続きも行わない場合は、総合型選抜合格者としての権利を消失する。この場合は、出願済みの他の国公立大学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。

エ 一つの国公立大学に入学手続きを完了した者は、それ以降これを取り消して他の国公立大学に入学手続きをとることはできない。

※公立大学協会ウェブサイト(<https://www.kodaikyo.org/nyushi>)

オ 本学においては、入学手続を完了した者に対し、入学までに取り組むべき課題を課すこととしている。

6 入学料の減免について

原則として高等学校の学業成績が 3.0 以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者

②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者

③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

第9 その他

1 障がいのある者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

(1) 申し出期限 令和7年8月8日（金）

(2) 相談の方法

本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。

※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載

(3) 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

電話番号 (098) 882-5080

2 入試成績の情報提供について

個人情報の保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を行うことができる。詳細は「令和8年度入学者選抜要項」を参照すること。

建学の理念

- (1) 日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容をもつものである。わけでも沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。
- (2) 県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。
- (3) 我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを目指し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

沖縄県立芸術大学の概要

1 設置目的

沖縄県立芸術大学は、広く教養を養い、深く専門芸術の技術、理論及び歴史を教授研究して、人間性と芸術的創造力及び応用力を育成し、もって伝統芸術文化と世界の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。

2 設置者 沖縄県

3 設置場所

首里当蔵キャンパス	〒903-8602 那覇市首里当蔵町1丁目4番地 本部 美術工芸学部（絵画専攻、芸術学専攻） 音楽学部（全専攻） 附属図書・芸術資料館 奏楽堂 体育館
首里崎山キャンパス	〒903-0814 那覇市首里崎山町4丁目212番1 美術工芸学部（彫刻専攻、デザイン専攻、工芸専攻）
首里金城キャンパス	〒903-0815 那覇市首里金城町3丁目6番地 芸術文化研究所

4 修業年限及び学位

- (1) 修業年限 4年
(2) 学 位 学士（芸術）

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（美術又は音楽）と高等学校教諭1種免許状（美術、工芸又は音楽）を取得することができる。

6 学芸員資格

博物館学課程所定の単位を取得すれば、学芸員の資格を取得することができる。

7 収容定員

学 部	学 科	専 攻	収容定員	
			入学定員	総 定 員
美術工芸学部	美 術 学 科	絵 画 専 攻	10	40
		彫 刻 専 攻	5	20
		芸 術 学 専 攻	6	24
	デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	80
		工 芸 専 攻	24	96
	小 計		65	260
音 楽 学 部	音 楽 学 科	音楽表現専攻	23	92
		音楽文化専攻	7	28
		琉球芸能専攻	10	40
	小 計		40	160
合 計			105	420

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000 円 県内居住者以外の者 512,000 円
※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。
- (2) 授業料 年額 535,800 円（内訳 前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）
納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。
- (3) 入学料及び授業料の減免
原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。
①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者
- (4) その他
上記（3）によらず特別の事情により入学料や授業料の納入が困難な場合は、事務局に相談すること。

2 授業料以外に必要な経費

- (1) 実習経費（美術工芸学部・音楽学部琉球芸能専攻）
美術工芸学部では、実習経費（4年間分）は次のとおりで、入学時に一括して納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。
①絵画専攻 300,000 円
②彫刻専攻 330,000 円
③芸術学専攻 70,000 円
④デザイン専攻 170,000 円
⑤工芸専攻 320,000 円

音楽学部琉球芸能専攻では次の経費が必要となる。
①古典音楽コース 約 80,000 円（黒朝・ハチマチ・長着稽古着代）
②舞踊組踊コース 約 15,000 円（長着稽古着代）
- (2) 学外研究費（美術工芸学部・音楽学部琉球芸能専攻）
美術工芸学部では、各専攻とも2年次あるいは3年次に予定している必修科目の経費として、各専攻 180,000 円（芸術学専攻は 160,000 円）を入学時に納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。
音楽学部音楽学科琉球芸能専攻では、3・4年次に予定している選択科目の経費として、実施年次に約 180,000 円が必要となる。
- (3) 音楽事業演習費（音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コース）
音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に 80,000 円～120,000 円程度が必要となる。

3 奨学金制度

- 本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、健康で経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。
- (1) 日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）
(2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
(3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
(4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険及び学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③①②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （4年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 個人情報の取扱い

（1）個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入された氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験の実施
- ②合否通知、入学手続き書類の送付
- ③入試成績の情報提供
- ④学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
- ⑥大学の施設・設備の使用に関する管理、連絡および手続き
- ⑦本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

（2）個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ①利用者の事前の承諾を得た場合
- ②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③法令の定めにより提供を求められた場合

（3）情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

6 その他

- (1) 本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。
- (2) 入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（又はタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。

※受験番号

令和 年 月 日

志 願 理 由 書

(必ず本人が記入すること。)

1 入学志願者氏名

2 志願理由(進学のための目的、将来の計画、自分の長所や特技等について自己推薦書となるよう詳細に記入すること。その際、成果獲得に向けた努力のプロセスについて記載するとともに、そこから学んだもっとも重要な事柄について具体的に記載すること。)

裏へ続く

[illegible]

※受験番号

(作成にあたっては、各学部の記載例を参照し、必ず本人が記載すること。)

氏名：				
志望学部：	学部	学科	専攻	(コース)

(1) 学業に関する活動について

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(2) 資格・検定等に関する活動について

資格・検定・試験等の名称	級・スコア等	取得等の年月

令和 年 月 日

活動報告書

（作成にあたっては、各学部の記載例を参照し、必ず本人が記載すること。）

氏名：	
志望学部：	学部 学科 専攻 （ コース ※記載不要 ）

（１）学業に関する活動について

総合的な探究の時間等、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、各種大会・コンクール、留学・海外経験等、在籍する学校における正規の活動において取り組んできた内容について記載してください。（１つでも可）

例１）総合的な学習の時間の取組

①タイトル

②活動期間（令和５年５月～６年３月）

例２）部活動の取組

①部活動の名称：〇〇〇〇

②部活動期間（令和４年４月～６年９月）

例３）生徒会活動の取組

①生徒会での役割：〇〇〇〇

②活動期間（令和〇年〇月〇日～〇月〇日）

例４）その他の活動

①活動内容：〇〇〇〇

②活動期間（令和〇年〇月～〇年〇月）

（２）資格・検定等に関する活動について

これまでに取得した資格や検定等がある人は、以下の表に記載してください。

資格・検定・試験等の名称	級・スコア等	取得等の年月
（例）英検の場合 実用英語技能検定試験	準１級	20〇〇年〇月

※資格・試験等について、客観的に確認できる証拠書類の写し（A4 サイズ）があれば提出してください。

令和 年 月 日

活動報告書

（作成にあたっては、各学部の記載例を参照し、必ず本人が記載すること。）

氏名：				
志望学部：	学部	学科	専攻	（コース）

（１）学業に関する活動について

1. 下記の例を参考にして、具体的な内容を記載してください。

（学内での活動）：部活動や生徒会活動、学校行事（体育祭、文化祭等）などの学校内での活動等

「総合的な学習の時間」や「総合的な探求の時間」などで取り組んだ課題研究等

（学外での活動）：ボランティア活動、各種大会・コンクールの参加、海外・留学経験、地域活動など
学校外での活動等

（その他）：資格・検定試験の取得

2. 文字数は任意としますが、本様式の範囲内で記載してください。※枠線の拡張は不可。
3. パソコンによる入力、手書きどちらでも構いません。
※パソコンを用いる場合は、10.5pt 以上の文字の大きさで入力すること。
4. 資格等取得済みの内容を記載する場合には、記入した活動について客観的に確認できる証拠書類の写し（A4 サイズ）を提出してください。

例１）部活動の取組

部活動名、活動期間、部内での役割、取り組んだことなど

例２）各種大会・コンクールの参加

大会（コンクール）名、日時、大会前や大会後に取り組んだこと、結果など

（２）資格・検定等に関する活動について

これまでに取得した資格や検定、試験等がある人は、記載してください。

1. 記載は５件以内とします。
2. 資格・試験等について、客観的に確認できる証拠書類の写し（A4 サイズ）を提出してください。

資格・検定・試験等の名称	級・スコア等	取得等の年月
（例） 実用英語技能検定試験	準１級	20〇〇年〇月

活動報告書に添付する確認資料について

活動報告書の「(1)学業に関する活動について」、「(2) 資格・検定等に関する活動について」は、記入した活動、資格等を客観的に確認できる資料を添付することを原則とします。

ただし、活動資料を添付できない場合は、高等学校長が作成する調査書の記入内容を評価の対象とします。



提出された確認書類は面接資料等としてコピーするため、下記に注意してください。

注 1) 確認資料はA4 サイズで提出してください。

注 2) 新聞記事を添付する場合は、切抜の記事を貼付けるのではなく、コピーしてください。

注 3) 出場申込書や選手登録用紙は、該当箇所（志願者本人部分）を赤字・太字で囲んでください。

注 4) 付箋紙やシールで志願者本人部分を指し示すことはしないでください。

「(1) 学業に関する活動について」を客観的に確認できる資料の例

※志願者以外の個人に関する情報は、必要に応じ黒塗りやマスキングしコピーして構いません)

1. 「総合的な学習の時間」または「総合的な探究の時間」などで取り組んだ課題研究等

- 総合的な学習の時間：活動記録や調査メモ、計画表、発表資料や抄録など

2. 部活動や生徒会活動、学校行事（体育祭、文化祭等）などの学校内での活動等

- 部活動、クラブ活動：実績資料を添付できない場合は、高等学校長が作成する調査書の記入内容を評価
- 生徒会活動：任命証や校内新聞など

3. ボランティア活動、各種大会・コンクールの参加、海外・留学経験などの学校外での活動等

- ボランティア活動：ボランティア参加証明書など
- 留学・海外経験等：(志願者の) 採用決定通知など
- 各種大会、コンクール等：出場申込書、登録用紙、主催者発行の大会結果表、賞状、新聞記事、大会要項、その他志願者の実績が客観的に確認できるものの

4. 上記に該当しない高校内外で意欲的に取り組んだ活動等

- 志願者の実績が客観的に確認できるもの

「(2) 資格・検定等に関する活動について」を客観的に確認できる資料の例

- 資格・検定：合格証書、認定証、資格者証など

プレゼンテーション形式申告書

氏名：
志望学部： 音楽学部 音楽学科 専攻 (コース)

プレゼンテーションのタイトル
プレゼンテーションの概要（２００字程度）音楽表現専攻、琉球芸能専攻の志願者のみ記載してください。
（文章・箇条書きいずれでも問いません）

29

【 美術工芸学部・音楽学部 】

※出願する学部を○で囲むこと

出願書類等一覧表【総合型選抜】

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	出願書類	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力）	☐
2	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの）	☐
3	志願理由書	☐
4	活動報告書	☐
5	プレゼンテーション形式申告書（音楽学部志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
6	住民票抄本等（県内に居住する要件該当者）	☐ （該当者のみ）
	伴奏用楽譜（音楽表現専攻声楽コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
	作曲又は編曲作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
	小論文（音楽文化専攻入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）
	課題曲・自由曲の地謡用音源（CD） （琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	☐ （該当者のみ）

注1 この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

注2 受験番号欄（※）は記入しないこと。

※受験番号	
-------	--